

大腸 内視鏡検査



ご利用の手引き

当院連携の先生方へ



Guide to inspection



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜
財団

済生会宇都宮病院

☑ 大腸内視鏡検査 予約のご案内

注意事項をご確認の上、検査をお申込みください。

01 適応

- 大腸のルーチン検査として日常行っております。高齢者についても危険性を説明していただければ対応しております。

02 前処置

- 大腸内視鏡検査において前処置は、正確な検査を円滑に行うために極めて大切です。患者さんにご指示くださいますようお願いいたします。詳細はP2に記載されています。
- 原則としてモビプレップによる洗腸法を行ってください。モビプレップの代わりにニフレックを用いていただいても結構です。

03 ポリペクトミーについて

- 小ポリープ(5mm以下)で少数(5個程度まで)ならば、検査直前及び検査中の説明と患者さんの同意があれば同日ポリペクトミーを施行いたします。
- 事前にポリープの診断がついているか、これを強く疑う場合はポリペクトミーの可能性を簡単にご説明いただくと共に検査当日、家族同伴をご指示ください。来院時に、担当医が詳しく説明し同意を取った上で対応いたします。

04 紹介状の記載について

- 電話での予約取得後に、紹介状、診療情報提供書(兼検査依頼書)、同意書をFAXにて送信いたします(サンプルを添付いたしますのでご参照ください)。
- 依頼内容は必要最小限で結構です。
- 抗血栓薬等の内服情報があればご記載ください。

05 検査当日、患者さんにお持ちいただくもの

- ・診療情報提供書(兼検査依頼書)
- ・検査予約票
- ・同意書
- ・保険証
- ・済生会宇都宮病院の診察券 ※以前に当院を受診したことがある場合

06 抗血栓薬について

抗血栓薬の休薬については、消化器内視鏡学会のガイドラインを参考にしてください。「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」

参考URL：http://minds4.jcqhc.or.jp/minds/gee/20130528_Guideline.pdf

01 検査結果について

検査担当医が検査後に簡単に説明しますが、組織検査の結果はおよそ1週間後にわかります。詳しい検査結果や組織検査の結果につきましては、後日ご依頼いただきました先生に郵送させていただきますので、患者さんへの説明をお願い致します。

大腸内視鏡前処置

- **前日の食事は午後6時までに消化の良いもの**(おかゆ・うどんなどで食物繊維の少ないもの)をおとりいただくようにしてください。
以後は水・お茶・スポーツ飲料のみ摂取可能です。※摂取量の制限はありません。
- **前日就寝前に、下剤(プルセニド3錠)**を服用頂くようお願いいたします。
- **当日は、下剤(モビプレップまたはニフレック)を2リットルの水に溶かして、予約時間の6時間前**より飲み始めていただくようお願いいたします。
※下剤(モビプレップ)は、その飲み始めた時間から2時間以内にお飲み頂くようにしてください。余裕があれば短い時間に全部飲んででも差し支えありませんが、無理をなさらないでください。
- 下剤を飲み始めると、排便が始まり数回トイレに行くことになります。飲み終えてから1～2時間すると便意も治まりますので、予約時間の30分前までに病院にお越しいただくようお願いいたします。
- 上記の下剤の処方 は 紹介元の先生よりお願いいたします。

当院での下剤を処方される場合

- 当院での下剤処方を希望される場合、事前の電話予約の際にその旨をお伝えください。
- 前日に服用する**下剤(プルセニド3錠)**を処方いただき、**前日就寝前にプルセニド3錠**服用頂くようご指示をお願いいたします。
- 当日は**午前9時まで**に病院へお越しいただきますようお願いいたします。
- 当日は**水1.5～2リットルをご持参**ください。(病院1Fの売店でも販売しています)
- 当日は何も食べないでください。水分はお取りいただいて結構です。
- 血液を固まりにくくする薬(抗凝固薬、抗血小板薬)を服用中の方は組織片の採取ができないことがありますので、検査担当医に事前にお申し出くださるよう患者さんへご説明をお願いいたします。